

科目名	子ども学演習				開講 キャンパス	神園
担当者	上 赤 博 文					
開講年次	3	開講期	通年	単位数	2	必修選択 必修
授業の概要 及びねらい	この授業では、子どもを取り巻く様々な環境問題、子どもの歴史、心身の発達、遊び、子どもを対象とした表現活動、子どもの福祉など、子ども学に関する基礎知識を深める。授業では、1) 文献資料の収集、2) 調査・実験、3) レポートの作成、4) 発表や討論、5) 子育て支援体験活動を行い、主体的な学習力の向上をめざす。また、子どもに関する知識や理解を深めるため、実地見学や観察、調査などの体験的学習を積極的に行う。なお、本演習は4年次開講「卒業研究」の基礎演習として位置づけられる。					
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもや教育、保育に関する問題関心を深め探究することができる。 2) 論文や文献を読んでその内容や要旨をレジュメにまとめることができる。 3) 他の学生の報告を傾聴し、質問や意見を述べることができる。 4) 身近な自然を活用した野外調査・野外観察の方法を知り、実践できる。 5) 生物の種類に応じた研究の方法を理解し習得する。 6) 野外で生活している生物を環境と関連付けて理解できる。 7) 野外で生活している生物が環境から受ける影響を観察や実験から理解し分析できる。 8) 地質、地層や化石などを調査する方法を習得する。 9) 保育内容指導法（環境）や小学校理科の内容と研究テーマとの関連を理解できる。 10) これまでの学びを基礎に、卒論のテーマについて考えることができる。 					
学習方法	授業は基本的にそれぞれで設定したテーマをもとに、実験・実習、野外観察、野外調査を行い、卒論作成に向けての基礎資料を収集する。					
テキスト及 び参考書等	指導担当教員が準備した資料や文献					
評価基準・方法	到達目標					評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現		
定期試験						0
小テスト等						0
宿題・授業外レポート	○	○	○	○		30
授業態度		◎	◎	◎		30
受講者の発表						0
授業への参加度			◎			10
その他	○	○	○	○		30
	調査や実験の取り組み状況、研究の過程、レポート作成等を総合的に評価					
合計						100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)						
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)						
通 年	第1週	オリエンテーション (ゼミ・教員紹介、ゼミの配属方法についての説明)				
	第2週	研究室訪問 (選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う)・希望調査票の提出				
	第3週	ゼミ別オリエンテーション (授業の進め方、顔合わせ)				
	第4週	野外調査・野外観察の基礎・基本				
	第5週	顕微鏡観察の方法				
	第6週	スケッチの書き方				
	第7週	野外調査・野外観察の方法 (1)	校庭・道端・公園			
	第8週	野外調査・野外観察の方法 (2)	野山			
	第9週	野外調査・野外観察の方法 (3)	水田・畑			
	第10週	野外調査・野外観察の方法 (4)	河川・水路・クリーク			
	第11週	野外調査・野外観察の方法 (5)	雑木林			
	第12週	野外調査・野外観察の方法 (6)	地層・化石			
	第13週	生物調査の方法 (1)	植物編			
	第14週	生物調査の方法 (2)	動物編			
	第15週	生物調査の方法 (3)	微生物編			
	第16週	前期のまとめ				
	第17週	生物を使った環境調査 (1)	地衣類やマツの葉で大気汚染を知る			
	第18週	生物を使った環境調査 (2)	水生昆虫で水質汚濁を知る			
	第19週	生物を使った環境調査 (3)	アサガオで酸性雨を知る			
	第20週	生物を使った環境調査 (4)	外来種から自然度を調べる			
	第21週	生物を使った環境調査 (5)	土壌微生物から土の健康度を知る			
	第22週	生物を使った環境調査 (6)	生物の分布調査から温暖化の影響を知る			
	第23週	生物を使った環境調査 (7)	農薬の影響を受ける昆虫相の変化			
	第24週	生物を使った環境調査 (8)	カラスの生活で環境を調べる			
	第25週	生物を使った環境調査 (9)	タンポポ調査から分かる都市化			
	第26週	生物を使った環境調査 (10)	ホタルの生活環 (ライフサイクル) から水辺環境を知る			
	第27週	子育て支援活動 (子どもミュージアム) リハーサル				
	第28週	子育て支援活動 (子どもミュージアム)				
	第29週	卒論作成に向けて (1) 研究テーマの再点検				
	第30週	卒論作成に向けて (2) 文献調査とその重要性				
	第31週	卒論作成に向けて (3) 論文の書き方とプレゼンテーション				
	第32週	ゼミ報告会 (まとめ)				
備考	本授業の一環として、西九州大学子ども研究ネットワーク主催事業「子どもミュージアム」に参加します。					